

平成30年度（2018年度）事業報告

はじめに

私たちの活動は、今年4月で活動21年目に入りました。7月には、北部地域の活動拠点であった「厚木萩野店」を閉店しました。

おおぜいの方たちから惜しまれた閉店でしたが、事業の厳しい状況を鑑み決断した時期は結果良かったと、厚木1号店に活動を集約してきました。

リユース・リサイクル事業においては、WE ショップ開設以来初めて雑貨の売上が衣類の売上を上回りました。ファストファッションによる安価な衣類の流通やネットショップの普及、また最近の傾向として、実家の片づけなどによるまとまった食器や雑貨類の寄付が増えたことも影響していると考えられます。

また、ボランティアの皆さんのご協力のもと、森の里にある NPO のコミュニティスペースで1年間定期的にフェアトレード品や東北支援品等の販売をさせていただいたことで、WE ショップを知っていただく機会が増えました。

支援については、品物の寄付者、お客様のおかげで、国内外の継続や新規支援に加え、昨年7月に発生した西日本豪雨被災者緊急及び復興支援も実施することが出来ました。

12月には支援先のカンボジアスタディーツアーに運営委員が参加し、3月には3年ぶりに東日本大震災復興支援先の気仙沼のNPO、海産物会社を訪問し、それぞれ現地の様子を皆さまに報告することが出来ました。

基本方針にあった新たな事業戦略について具体的に検討できなかったことは大きな反省点です。まだまだ私たちの活動が知られていないことを認識し、原点に戻り、地域の人たちの共感を得るための努力を続けていきます。

■2018年度基本方針

- 1 地域の人たちに働きかけて、活動への共感者を増やす。
- 2 新たな事業戦略を検討する。

1) チャリティショップでのリユース・リサイクル推進事業

(1) リユース活動の推進

*チャリティショップ「WEショップ厚木」で、一般市民及び団体から寄付された衣類や日用雑貨、美術品、骨董品等を販売し、環境への負荷が少なくなるようリユースを進めました。

- ① 期 間 通年
- ② 場 所 WEショップ厚木1号店 WEショップ厚木荻野店 (7/7まで)
- ③ 対象者 一般市民
- ④ 内 容 不要になった寄付品の受入及び提供

<実績> 2018年度活動実績表 人数は延べ人数

	厚木1号店	厚木荻野店(7月まで)	合計
寄付者数	3634件 内新規109件	429件 内新規31件	4063件 内新規140件
顧客数	21207人	2944人	24151人
売上高	17,738,017円	2,603,980円	20,341,997円

厚木1号店

- ・2017年より寄付者、顧客、売上と全てにおいて活力が戻ってきた感がありました。
- ・荻野店で活動していたボランティアさんが4名、1号店に参加して下さいました。
- ・WEショップを知っていただくツールとして、森の里「ふらっとコアラ」さんで月1回海産物を販売しました。

厚木荻野店

- ・6月4日～7月7日まで閉店セールを開催しました。その中で、6月最後の1週間は衣類雑貨の売上金をすべて支援金としました。
- ・7/7営業終了後もお店の物件を引き渡すまで、片付け等ボランティアの皆さんには多大なご協力をいただきました。

*着物のリユース活動を進める方法として「着付け教室」を開催しました。

- ①期 間 通年
- ②場 所 WEショップ厚木1号店(月1～2回)
- ③対象者 一般市民
- ④内 容 着物の着付けを習うことで着物文化への関心を広げる。
- ⑤参加費 1回500円を講師に支払う。

<実績> 4月1回 5月2回 6月2回 7月2回 9月2回 10月2回
11月2回 12月1回 合計14回開催 延べ68人参加

(2) リサイクル活動の推進

* 寄付された品物の中でリユースできなかつた衣類等をリメイクボランティアチームの「おりひめ」や布ぞうり製作ボランティアに託し、リサイクルを進めました。

- ① 期 間 通年
- ② 場 所 WEショップ厚木1号店（毎週水曜日）・ボランティア自宅
- ③ 参加者 一般市民
- ④ 内 容 洋服・バッグ・スカーフ・小物、布ぞうり

* 再利用できなかつた衣類等を故繊維業者に託し、リサイクルを進めました。

- ① 期 間 通年
- ② 対象者 近隣の故繊維業者
- ③ 内 容 リユースできなかつた衣類等

<実績> 搬出袋数 厚木1号店 767袋 厚木荻野店 204袋

* リユース出来なかつた綿製品は、必要とされている高齢者福祉事業所等に、45リットル袋108円で提供し、リサイクルを進めました。

- ① 期 間 通年
- ② 対象者 高齢者福祉事業所等
- ③ 内 容 リユースできなかつた綿製品

<実績> 厚木1号店 24袋 厚木荻野店 4袋

(3) 広報活動

上記の活動への共感者を広げるために、ニュース発行と配布、店内広報の充実、ソーシャルメディアの活用を進めました。

- ① 期 間 通年
- ② 対象者 一般市民
- ③ 内 容 ニュース（年3回）・チラシ・店内広報・その他必要に応じた広報物発行

<実績>

・ 寄付品募集ちらし

2018年度版寄付募集チラシを10000枚作成し、市内配布をすすめました。

・ ローカルニュースの発行

「WE21厚木ニュースNo.56」 発行日2018年7月 1000枚発行

「WE21厚木ニュースNo.57」 発行日2018年12月 500枚発行

「WE21厚木ニュースNo.58」 発行日2019年3月 500枚発行

※4月に厚木1号店の単独チラシを1000枚作成し店頭で配布しました。

・ ミニコミ紙への掲載

フリーペーパー「厚木時間」に3回WE ショップ情報を掲載しました。

・店内広報の充実

チャリティショップとしてのアピールに力を入れました。

・ソーシャルメディアの活用

フェイスブックにリアルタイムに情報を載せるよう努めました。

W.Co ほっとリンクに委託し、ホームページをリニューアルしました。

2) 国内外の寄付支援事業

開発途上国の貧困をなくすために、アジアの人々、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援しました。国内においては、東日本大震災及び西日本豪雨被災地支援を実施しました。

(1) 国内 NPO、NGO を通じた海外プロジェクト支援の実施

- ① 時期 2019年3月実施
- ② 対象国 カンボジア・ネパール等、他にも支援を必要としている国
- ③ 内容 女性や子どもたちの命や人権を守る活動を継続支援他

<実績> 総額： 1,830,521 円

支援国等	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
カンボジア	認定 NPO 法人 「幼い難民を考える会 (CYR)」	「村の幼稚園」地域での継続運営にむけて	630,521 円 (店頭募金含む)
	認定 NPO 法人 「シェア=国際保健協力市民の会」	子どもの栄養改善 1000 日アプローチプロジェクト	30 万円
ネパール	NPO 法人ベルダレルネーヨ(ネパリ・バザーロ)	カンチャンジャンガ紅茶農園周辺の子どもたちへの高等教育支援	80 万円
ミャンマー	公益社団法人「シヤンティ国際ボランティア会」	難民キャンプの図書館事業	10 万円

*その他の寄付

- ・寄付品の中から白いワイシャツ段ボール一箱、書き損じはがき 912 枚及び未使用切手 8,914 円相当分を認定 NPO 法人「幼い難民を考える会 (CYR)」へ寄付しました。

(2)国内 NPO、NGO を通しての寄付支援及び緊急支援

*東日本大震災復興支援を実行しました。

① 時 期 2019年3月実施

② 対 象 気仙沼市

③ 内 容 復興支援

・3月11日は「3.11を忘れない」の復興支援イベントを行い、当日のWEショップ厚木1号店の売上金全額を支援金とし、気仙沼のNPO法人「生活支援プロジェクトK」に送りました。

・東日本大震災復興支援への募金箱を設置し、同上のNPO団体に送りました。

*公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」を通して、7月に発生した西日本豪雨被災者への緊急支援及び復興支援を実施しました。

① 時 期 緊急支援：2018年8月 復興支援：2018年10月～2019年3月
2018年7月末から9月末まで店頭募金箱を設置し、復興支援金としました。

② 対 象 愛媛県西予市の被災者

③ 内 容 緊急及び復興支援

<実績> 総額： 919,440円(店頭募金を含む)

支援地域	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
宮城県 気仙沼市	NPO 法人 「生活支援プロジェクトK」	地域住民の生活支援、地域コミュニティ形成の促進プロジェクト	594,192円 (店頭募金含む)
福島県	NPO 法人「ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト」	福島県からの自主避難者住み替え金	10万円
愛媛県 伊予市	公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」	愛媛県西予市での被災者支援活動	225,248円 (店頭募金含む)

*東日本大震災被災地の産品を取り扱い復興を支援しました。

①期 間 通 年

②対 象 気仙沼市 有限会社ムラカミ

③内 容 海産物

<実績> 年間仕入れ金額： 1,722,367円

3) 国際理解を深めるための事業

(1) フェアトレードの推進

「もうひとつの海外支援」としてフェアトレード品の仕入れを行い、生産者を支援しました。

① 期 間 通 年

① 対 象 ネパール・ブラジル、インドネシア、パレスチナ等

③ 内 容 紅茶、カレー、コーヒー、チョコレート、塩、石けん等

<実績> フェアトレード品 年間購入金額 520,985 円

フェアトレード品仕入先団体別購入金額 ()内は取り扱い商品の生産国、主な品

ネパリ・バザーロ (ネパール紅茶、カレー、他)	第三世界ショップ (ブラジルの珈琲、インドネシアの塩、チョコレート、他)	フレンズ・オブ・アシーラ (パレスチナのオリーブ石鹸)
289,714 円	220,271 円	11,000 円

(2) WE 講座の開催

支援先の国際協力 NGO や NPO 団体のメンバー及びフェアトレード団体による活動報告会を開催し、お互いの交流を深めました。

①時 期 年間 3 回

②場 所 公共施設等

③対 象 一般市民

④内 容 支援先の報告会及びフェアトレード団体による活動報告会

<実績>

	テーマ	講師等	場所
9/21	「村の幼稚園事業」についての活動報告	認定 NPO 法人「幼い難民を考える会」事務局 片山美紀さん	アミューあつぎ
1/24	カンボジアスタディツアー参加報告 (認定 NPO 法人「幼い難民を考える会」活動先訪問)	WE21 ジャパン厚木運営委員 磯崎由美子さん	アミューあつぎ
2/18	ネパール支援先「若者の高等教育奨学金支援」活動報告	有限会社「ネパリ・バザーロ」代表 高橋百合香さん	アミューあつぎ

*6/1 県央地区 WE21 地域合同企画の開催

(厚木、海老名、座間、相模原、綾瀬、伊勢原、大和の 7 つの地域法人)

「おしどりマコケントークライブ」 会場：海老名市文化会館小ホール

(3) 「貧困なくそうキャンペーン」の開催

10 月には、国連が定める「貧困撲滅デー」に合わせ「貧困なくそうキャンペーン」を展開し、ホームページ、フェイスブック、店内掲示、チラシ配布により広く市民に参加をよびかけました。

- ① 期 間 2018 年 10 月 1 日～30 日
- ② 場 所 WE ショップ厚木 1 号店
- ③ 対 象 一般市民

<実績>

カンボジアの支援先 認定 NPO 法人「幼い難民を考える会(CYR)」が実施する「村の幼稚園」の給食募金への協力を呼びかけました。募金金額：30,521 円

4) 支援先との交流事業

*カンボジアの支援先を訪問し、支援の成果と現状を学び、現地の人々との交流を深めました。

- ①時 期 2018 年 12 月 10 日～14 日
- ②訪問先 「認定 NPO 法人 幼い難民を考える会(CYR)」現地事務所及び村の保育園
コンポンチュナン州：ブレクリアン村の幼稚園
カンダール州：バンキアン保育所、プレイタトウ保育所、
スタウコランラエンプラム村の幼稚園

*東日本大震災復興支援先の気仙沼を訪問し、現地の人たちとの交流を深めました。

- ① 時 期 2019 年 3 月 2 日～3 日 参加者 8 名
- ② 訪問先 気仙沼 NPO 法人「生活支援プロジェクト K」
海産物仕入れ先 (有)ムラカミ
震災遺構「向洋高校」と伝承館及びリアスアーク美術館
気仙沼市内

5) 組織運営

(1) 運営委員会の開催

総会で決定された事業方針に基づき事業を推進しました。2 月及び 3 月の運営委員会では、今後の法人運営の在り方について討議し、認定 NPO 法人格取得にむけて進んでいく方向を決定しました。

- ①期 間 通年
 - ②場 所 WE ショップ厚木 1 号店会議室
 - ③ 対 象 運営委員
- <実績> 運営委員会 12 回 臨時運営委員会 1 回 開催

(2) 会員

法人会員にはニュースの送付等を通じて情報を開示し、講座やイベントへの参加を呼びかけました。

- ① 期 間 通年
- ② 人 数 期首 81名 期末 89名

(3) ボランティアミーティング及びスタッフミーティング

定期的に開催するボランティアミーティング及びスタッフミーティングを通じて情報を共有し、課題の整理、活動への提案につなげました。

- ① 期 間 通年
- ② 場 所 WEショップ厚木1号店・WEショップ厚木荻野店(7月まで)
- ③ 対 象 ボランティア登録者・ショップスタッフ

<実績> スタッフミーティング : 厚木1号店及び厚木荻野店でそれぞれ毎月開催
ボランティアミーティング : 厚木1号店 10回(12月忘年会含む)
厚木荻野店 4回(7月お別れ食事会含む)

(3) 地域とのつながり

*市内の高齢者や子ども等の非営利の12団体がネットワークする「ヒューマンサポートネットワーク厚木」と交流することでお互いの活動の情報交換をすすめ国際理解への関心を高めました。

- ① 期 間 通年 奇数月開催の運営会議に出席

<実績>

- ・年間通じてフェアトレード品の共同購入にご協力いただきました。

購入実績 266,053円

※ご協力いただいた各事業所

ケアセンターあさひ、保育園V i V i、おひさまっこ保育園
学童保育なないろのたね、くれよん保育室

- ・5/20 サービスハウスポポロ主催 「ポポロまつり」に参加しました。

*KTC おおぞら高等学院厚木キャンパスに協力し学生を受け入れました。今年で6年目になりました。

- ① 期 間 通年

<実績> 年間22回 受入れました。

※3/8 WEショップにてお別れ会

※3/9 卒業式に来賓として出席 (卒業生2名)

*2/24 NPO あつぎみらい 21 が主催する「1day プロボノ」に参加しました。「次世代に活動をつなげていく」をテーマに異業種の方たちから意見をいただきました。

(4) 見学等の受け入れ

活動に関心のある個人、団体の見学を受け入れ、社会貢献型のチャリティショップシステムへの共感を広げました。

①期 間 通年

②場 所 WEショップ厚木1号店

③対 象 チャリティショップの推進活動に関心のある個人・団体

<実績>

6/2 気仙沼の（有）ムラカミの村上ご夫妻が来訪

10/16 ヒューマンサポートネットワーク厚木「国際文化会館フェロー」のアジアの人たちの研修ツアーが見学